

# ReVERSE-AVIDIN を用いた ビオチン化 IgG 添加回収試験: HeLa細胞抽出液

## ビオチン化IgG 結合 - 溶出試験

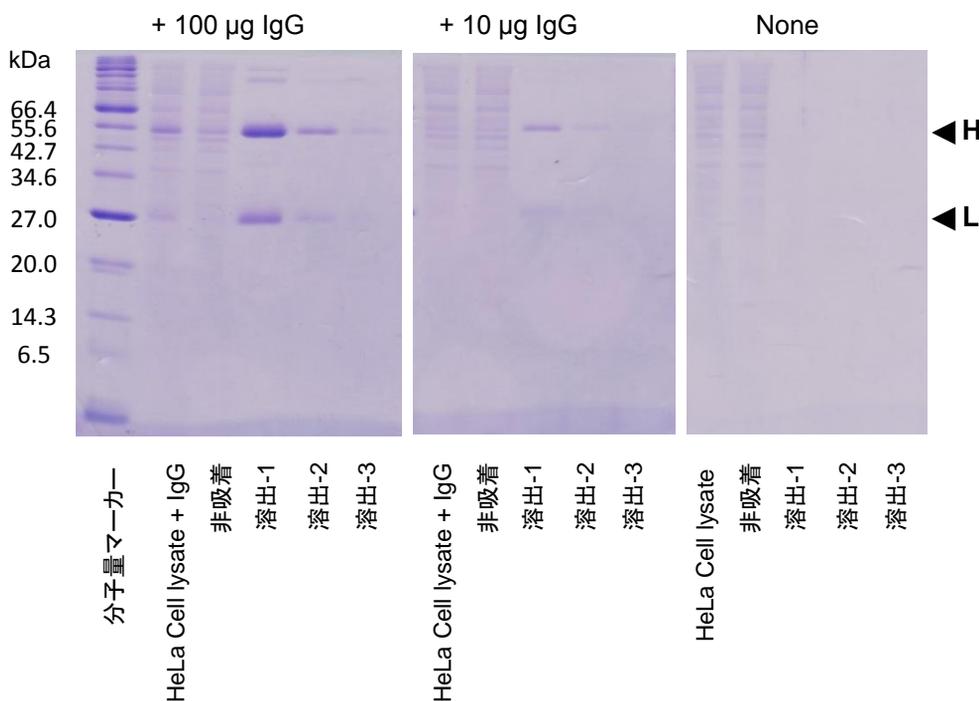
ReVERSE-AVIDIN ゲル各 10  $\mu$ L に  
Biotin 化 IgG を 100  $\mu$ g または 10  $\mu$ g 添加した HeLa細胞 lysate 500  $\mu$ L を添加し、室温で1時間反応。  
(100 mm ディッシュ 1/2枚相当)

↓  
非吸着画分 (FT) を回収。

↓  
PBS でゲルを 5 回洗浄。

↓  
10 mM Biotin-PBS を 100  $\mu$ L 添加し、溶出液を回収。これを 3 回繰り返す。

↓  
SDS-PAGE



**SDS-PAGE**

サンプル: 溶出画分 4  $\mu$ l  
ゲル: 15% (Tris-Glycine)  
染色: CBB

ReVERSE-AVIDIN は、100  $\mu$ g、10  $\mu$ g の Biotin 化 IgG を添加した HeLa細胞 lysate から、それぞれ 46.2  $\mu$ g、6.1  $\mu$ g 回収することができた。

なお、ReVERSE-AVIDIN に反応する HeLa細胞 lysate 由来のタンパク質バンドは検出されなかった。

**プロテノバ株式会社**

〒769-2604

香川県東かがわ市西村1488番地1

TEL 0879-49-0702 / FAX 0879-49-0703

ホームページ <http://protenova.com>